ご使用前に、この説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。

MD40410-01　2011.0819

保管用

安全にご使用いただくために

⚠警　告

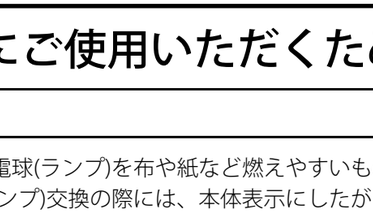
●器具や電球(ランプ)を布や紙など燃えやすいもので覆わないでください。**火災・感電の原因**となります。
●電球(ランプ)交換の際には、本体表示にしたがって、指定された電球(ランプ)を使用してください。指定以外の電球(ランプ)を使用すると、**火災や器具故障の原因**となります。
●器具を改造しないでください。**火災・感電・器具故障の原因**となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、**火災・感電の原因**となります。すぐにスイッチを切ってください。異常がおさまったことを確認して、電器店・工事店に修理をご依頼ください。

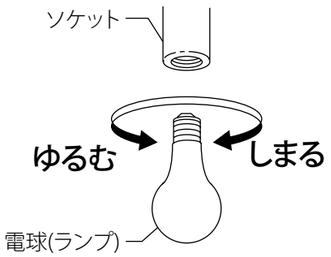
⚠注　意

●電球(ランプ)交換や、お手入れの際は、安全のため電源を切ってから行ってください。**やけど・感電の原因**となることがあります。
●電球(ランプ)と商品などの被照射物との距離には制限があるものがあります。器具表示にしたがって十分な距離をとってください。商品の退色だけでなく、**火災の原因**となることがあります。

■電球(ランプ)交換

●電球(ランプ)の交換は、電源を切り器具の温度が下がってから行ってください。点灯中や消灯直後は、**やけどや感電の原因**となることがあります。
●電球(ランプ)交換の際には、本体表示にしたがって指定された電球(ランプ)を使用してください。指定以外の電球(ランプ)を使用すると、**火災の原因**となることがあります。





⚠ 注 意
電球形蛍光灯 EFA15W形を使用する場合は調光回路での使用が出来ません。誤って使用された場合は**火災・電球(ランプ)の破損の原因**となります。

■器具の寿命

●照明器具には寿命があります。設置して 10 年 (使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。) 経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などでは寿命が短くなります。

■器具の保証

●この商品の保証期間は 1 年間です。ただし、安定器は 3 年 間です。ランプ・グロー点灯管等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログ及びホームページの最新版をご参照ください。
●保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し入れください。
●弊社はこの照明器具の補修用性能部品 (電気部品) を製造打ち切り後、6 年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

■器具の点検

●1 年に 1 回は弊社ホームページ記載の「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3 年に 1 回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、**火災・感電・落下の原因**になります。

■器具のお手入れ

●汚れを落とす場合は、必ず電源を切って行なってください。**感電・やけどの原因**となります。石鹸にひたした柔らかい布を、よく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・変質の原因**となります。

お客様相談窓口
マックスレイ株式会社
http://www.maxray.co.jp
東京　03-3791-2711
大阪　06-6967-0123
名古屋 052-252-9556
福岡　092-431-7824

取扱説明書　(ペンダント)

MP40410-01　2011.0819

保管用

MP40410・40411・40412

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

施工者様へのお願い
器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行って下さい。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

安全に施工していただくために

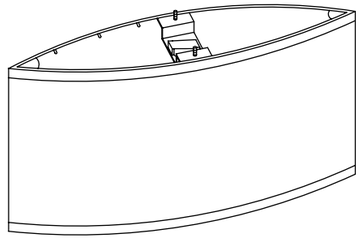
⚠警　告

●この器具は一般屋内用天井吊り下げ照明器具です。床や壁に取付けたり、下記の使用環境、条件では使用しないでください。**感電・火災・落下の原因**となります。
・周囲温度が 35℃以上の所
・屋外の水のかかる所や、風呂場など湿気の多い (湿度 85% 以上) 所
・振動・衝撃の激しいところや、腐食性ガス・可燃性ガスの生じる所
・粉塵の多い所
●器具の施工は取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると、**火災・感電・落下の原因**となります。
●器具を改造しないでください。**火災・感電の原因**となります。

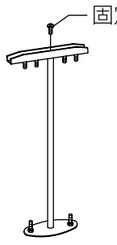
⚠注　意

●器具に表示された電源電圧の± 6% 以内で使用してください。 **火災・感電の原因**となることがあります。
●器具の取付け方向には制限のあるものがあります。器具表示にしたがって正しい向きに取付けてください。**火災や落下の原因**となります。

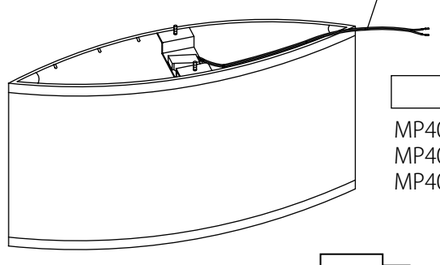
■同梱品　商品には下記の物が同梱されています



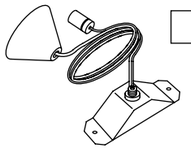
端用セード
MP40410・・・1ヶ
MP40411・・・1ヶ
MP40412・・・1ヶ



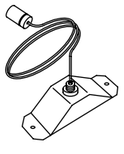
ジョイント金具
MP40410・・・4ヶ
MP40411・・・6ヶ
MP40412・・・8ヶ



セード
MP40410・・・3ヶ
MP40411・・・5ヶ
MP40412・・・7ヶ



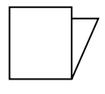
ワイヤーBOX(フランジ付)
MP40410・・・1ヶ
MP40411・・・1ヶ
MP40412・・・1ヶ



ワイヤーBOX
MP40410・・・3ヶ
MP40411・・・2ヶ
MP40412・・・3ヶ

六角レンチ
MP40410・・・1ヶ
MP40411・・・1ヶ
MP40412・・・1ヶ

木ネジ
MP40410・・・6ヶ
MP40411・・・5ヶ
MP40412・・・6ヶ



取扱説明書
MP40410・・・1枚
MP40411・・・1枚
MP40412・・・1枚

フランジナット
MP40410・・・8ヶ
MP40411・・・6ヶ
MP40412・・・8ヶ

インシュロックタイ
MP40410・・・1ヶ
MP40411・・・1ヶ
MP40412・・・1ヶ

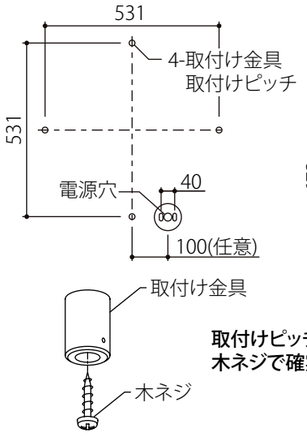
保管用

■取付方法　図は抽象化した共通図です

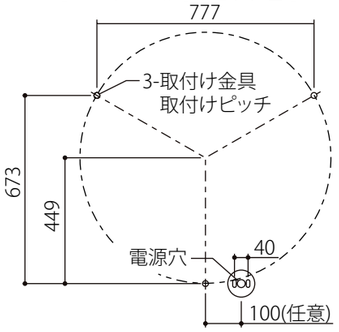
1 . 取付け前の確認。
●器具重量や電球(ランプ)の交換など器具の保守・点検の際にかかる力に十分に耐える様、取付け部の強度を確保する。

2. 取付け金具を取付ける。
●下図取付けピッチ参照
●下図参照

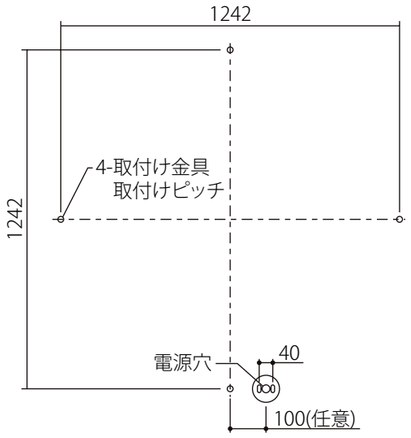
【 MP40410取付けピッチ図 】



【 MP40411取付けピッチ図 】



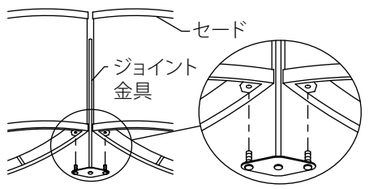
【 MP40412取付けピッチ図 】



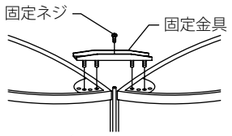
取付けピッチに取付け金具を木ネジで確実に固定する。

3. セードを連結する。
①ジョイント金具の固定ネジをゆるめ固定金具を取外す。

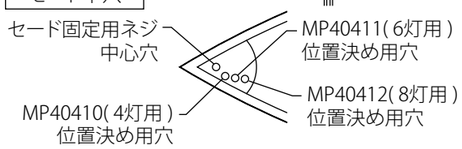
②ジョイント金具から出ているネジをセード下側の穴に差し込む。



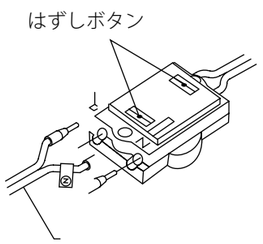
③固定金具から出ているネジをセードの灯数位置決め用穴・中心穴に差し込み、固定ネジで確実に固定する。
固定が不完全な場合、**落下の原因**となることがあります。



セード下穴

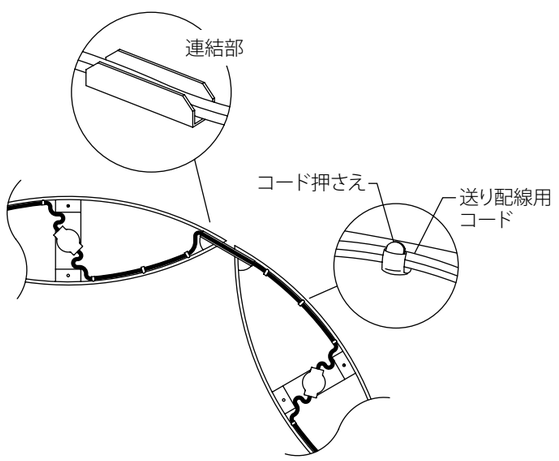


4. 送り配線を行なう。
①端子台から出ている送り配線用コードを隣セードの端子台に接続する。

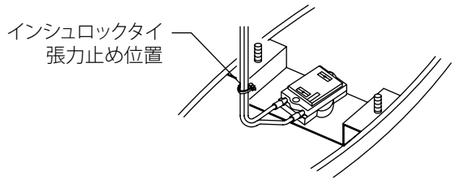


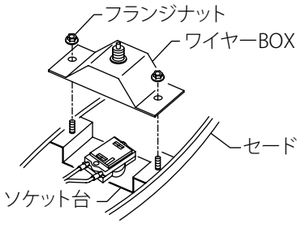
送り配線用コードを確実に差し込む
●差し込みが不十分な場合接触不良により、**火災の原因**となります。
●外す時は、電線はずしボタンをマイナスドライバーなどで押し、電源線を引っ張って下さい。外す際はソケットを持ちながら行なってください。無理に外しボタンを押し付けると**セード破損の原因**となります。

②送り配線用コードを下図の様にセードにはわし、セードフレーム部のコード押さえで押さえる。連結部は固定金具内に送り配線を収納する。

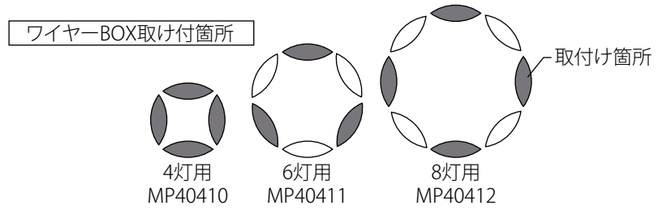


5. 端用セードに電源用コードを接続し、ワイヤーBOX(フランジ付)を取付ける。
①項目4.①と同じ手順で端用セードに電源用コードを端子台に接続する。
②電源用コードをインシュロックタイで締結し、張力止めを行なう。
この時、張力止めは確実に行ってください。張力止めが不完全な場合接触不良により、**火災・感電の原因**となることがあります。
③ワイヤーBOX(フランジ付)をセードのソケット台にかぶせフランジナットで確実に取付ける。取付けが不完全な場合、**落下の原因**となることがあります。

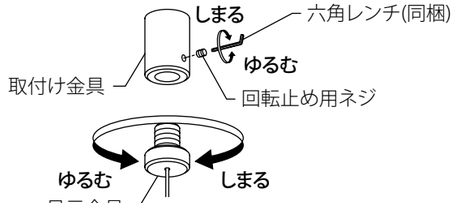




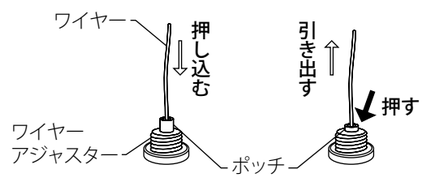
6.ワイヤーBOXを取付ける。
●項目5.③と同じ手順で下図ワイヤーBOX取付箇所にワイヤーBOXを取付ける。
※下図ワイヤーBOX取付け箇所に取付けられていない場合は偏荷重により**落下の原因**となります。



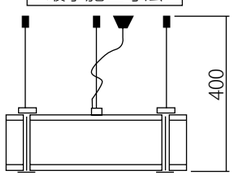
7.取付け金具に吊元金具を取付ける。
①取付け金具に吊元金具を時計方向に回転させながら取付ける。
②回転止め用ネジを六角レンチ(同梱)で締付け、確実に固定する。
この時、必ず回転止め用ネジを取付けてください。
取付けが不十分な場合や、取付けられていない場合**落下の原因**となることがあります。



8.ワイヤーを調整する。
●ワイヤーを短くすときはそのままワイヤーをワイヤーアジャスター方向へ押し込み、長くするときはワイヤーアジャスターのポッチを押しながらワイヤーを引き出してください。
●コード長がワイヤーより短くならないようにしてください。
●この時下図最小施工寸法より短く施工しないでください。電球(ランプ)交換時が出来なくなります。



最小施工寸法



9.電源線とリード線を結線する。(送り配線不可)
●右図参照
●リングスリーブ(別途)で結線後、電気設備技術基準や内線規定に従って、確実に絶縁処理を行ってください。
●送り配線不可

10.取付板を取付ける。
●右図参照
●付属の木ネジで確実に固定してください。

11.電線を取付板内側にまとめる。
●電源線やリード線を取付板とフランジの間にはさみ込まない様、取付板内側にまとめてください。

12.フランジをかぶせ、リングナットを締め付ける。
●右図参照

13.電球(ランプ)を取付ける。
●P.(4) 電球(ランプ)交換 参照
●本体表示に従って、指定された電球(ランプ)を使用してください。指定以外の電球(ランプ)を使用すると、**火災の原因**となることがあります。